

平成28年度行政評価 施策評価結果一覧表

2次評価

施策No.	施策体系	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	2次評価コメント
1	自然環境の保全	9	市民生活課	○	維持	モラルの低下と空き地空き家の増加を背景に細かな不法投棄が増えてきているので、不法投棄対策の充実を期していかなければいけない。また、松くいについては防除と復元をセットに考えていく必要がある。
2	安全・安心な生活環境の確保	6	市民生活課	△	維持	生活環境に係わる重要課題が様々あるので、生活環境保全のために良い取り組みを継続していく。
3	循環型社会の確立とエコライフの推進	3	市民生活課	○	維持	ごみの減量化、再資源化は容易ではないが、今後もPR活動を行い減量化に努める。
4	有機資源の循環による地域社会の構築	2	農林水産課	○	維持	とりわけ関わりの深い有機農業の推進という必要性に鑑み、両施設の運営を維持していくことを基本としつつ、実用に至る流れを十分検証しながら今後の推進を図る。
5	学校教育環境の充実	4	学校教育課	○	維持	豊かな緑の中で自然環境の教育や、学校の統合も含めて教育環境の整備を行っていく。
6	地域の食材を提供する学校給食	4	学校教育課	◎	維持	順調に推移しているので、更に充実を期していくべき。また、「地産地消」「食育」に関しても更に推進し良いものにしていく。
7	明日を担う青少年の健全育成	20	学校教育課	○	維持	指標設定について吟味しながら評価をしていくことが求められている。1次評価で拡充とした事業については必要性、有益性を吟味して方向付けを行う。
9	郷土の歴史と文化の保存・継承	7	生涯学習課	○	維持	事柄が専門的な知見を必要とする内容であるため、人材育成と後継者確保という視点を持ちながら今後の推進を図っていく。
10	国際交流の推進	3	総合政策課	○	維持	世界的な政情不安等がある中で、今後国際理解の必要度は増してくるため、経費等も勘案しつつ事業継続を図る。
11	文化芸術活動の振興	7	生涯学習課	△	維持	指標の数値目標からすればやや遅れているが、自主イベントも賑わいを生んで活況を呈してきている。
12	生涯学習事業の推進	7	生涯学習課	△	維持	公民館利用者は減っているが、市民ニーズに応えた講座等を実施し、多彩なプログラムに創意工夫を施しながら推進を図っていく。
13	生涯スポーツ事業の推進	17	生涯学習課	○	維持	生涯スポーツの推進を行う原点として、健康増進とリンクしたスポーツの振興を進める。

14	快適生活をサポートする道路管理	5	地域整備課	○	維持	地域の要望に応えられるよう計画的に推進していく。
15	居住地域の環境整備	4	地域整備課	○	維持	河川環境の雑木処理等可能な限り要望に応えられるよう努める。
16	公共交通網の利便性向上	6	総合政策課	○	維持	市民の利便性向上に資するようメインの西口整備を着実に推進することと併せて、生活交通確保がこれから必要度が増すため市民のニーズに応えられるよう推進を図る。
17	情報通信基盤の整備	2	総務課	○	維持	マイナポータルを活用したワンストップサービスを速やかに導入し、セキュリティ対策については更に強化していくこと。
18	緑の居住空間整備	6	地域整備課	○	維持	住宅リフォームについては、内容を精査し財源との兼ね合いで縮小する必要もある。また、上下水道については、長期的な現場に立って維持管理を行っていく必要がある。
19	水辺や山麓に憩いの場の整備	2	地域整備課	○	維持	公園は市民にとっての憩いの場として、これまでどおり安全にも配慮した整備を行っていく。
20	居住の安定を図る公営住宅整備	4	地域整備課	○	維持	現状を維持し制度目的にあった住宅を供給し、なるべく待機者を減少させるよう推進を図る。
21	高齢者福祉の充実	21	福祉介護課	○	維持	高齢化の加速傾向の中、高齢者福祉等益々必要性が高まってくるが、限られた財源の中で事業推進を行っていかなければならない。したがって、事業の精査、受益者負担の在り方等について必要な見直しを図り推進していく。
22	障害福祉の充実	12	福祉介護課	○	維持	高齢化の進展という事が障がい者の増加と呼応する関係にあり、その分事業費を含めて様々なサービスの拡充も求められるが、県の支援等を含めながら改善策があれば検討を深めて推進を図る。
23	地域で支える介護予防活動の推進	2	福祉介護課	○	維持	介護予防は健康寿命を延伸するという意味で極めて大切な施策で、一層市民協働を進めながら可能な範囲でコストを抑制しつつ推進を図る。
24	生活支援体制の推進	1	福祉介護課	○	維持	生活保護世帯の高齢化等、保護の必要度も決して低下しない状況が背景にある中、できるだけ必要な方に速やかに適正に手当てしていく事を継続していく。
25	子育て支援事業の推進	16	こども支援課	○	拡充	制約のある中、重要性、必要性を十分吟味し、拡充すべきもの見直すべきものを判断していく。
26	健康づくりの推進	20	健康づくり課	○	拡充	様々な角度から効果を検証し、減らせるところを吟味して成果の拡充を図る。
27	介護予防で、はつらつ80推進事業	4	福祉介護課	○	維持	今後益々需要が高まってくることが予想される介護予防において、的確な対象把握とより多くの対象者に対する啓発やケアのアプローチが充実するよう推進していくことが求められる。

28	高齢者の尊厳と自立を支える介護体制の確立	12	福祉介護課	○	維持	介護予防の中でも認知症予防は極めて大きなテーマで、予防とケアそして地域ぐるみで見守るという事を総合的に取り組んで行かなければいけないと思われる。
29	医療関係機関との連携	5	健康づくり課	○	維持	広域や開業医等との連携の多様性を求めながら、地域医療を守ることを将来的な目標として取り組んでいく。
30	防災対策	7	総務課	○	維持	これまでの取り組みに更に自主防災組織の拡充を進めていくことを主要な課題として、組織化に至っていない集落に対する働きかけを強化していく。
31	防犯対策	1	総務課	○	維持	安全安心のためにLED防犯灯の設置等が一定の効果を果たすことが認められているので、できるだけ拡充に努める。
32	交通安全対策	3	総務課	○	維持	高齢者の交通安全確保対策が重要度を増していることから、啓発・方針に関する諸施策を総合的に推進していく。
33	人権意識の高揚	2	総務課	○	維持	啓発活動に合わせて、出来るだけ人権侵害事案に対して相談できる場を拡充し、問題解決に向けた取り組みを進めていく。
34	男女共同参画体制の推進	1	総務課	△	維持	これまでの取り組みが必ずしも成果が上がっていない部分も含め、男女共同参画の理念を地域の中でより多くの人々が共有できるように推進を図る。
35	農業基盤の整備	4	農林水産課	◎	維持	自治体の負担金等を勘案しつつ、必要な基盤整備に対して可能な範囲で迅速に推進を図る。
36	工場誘致の推進	1	総合政策課	◎	維持	順調に推移しているのでこのまま続けていく。今後の誘致において清水地区をメインターゲットとして推進を図る。また、留意点として工業用水等の収支面においても改善を図る。
38	観光の拠点化の推進	14	商工観光課	△	維持	目指すべき成果が確実に表れている状況ではなく、改善していかなければならない課題は多くあるが、しかるべき方向性を見定めながら推進を図っていく。
39	イベントによる観光振興	1	商工観光課	△	維持	観光振興に占めるイベントの重要性に鑑み、更なる個々のイベントの魅力の発掘を図る。
40	観光宣伝及び誘客の企画	5	商工観光課	△	拡充	観光振興において観光の宣伝・誘客の企画は大切な要素であるため拡充を図っていく。ただし、必要とされる経費については吟味し圧縮に努める。
41	雇用の促進と安定化	1	商工観光課	○	維持	概ね順調に推移しているが、事業費の拡充は望めないのでアンケート調査の精度を高め、様々なマッチングの機会を増やせるよう取組を進めていく。
42	観光事業と地域産業の連携	1	商工観光課	○	維持	現有的特産品の魅力がさらに向上し、PRに係る成果がより高まるように努める。

43	商業の活性化	3	商工観光課	△	拡充	これまでの各種施策に加えて市外からの消費者を増やしていくなどの視点に立った、新たな取組を模索していくといった意味での拡充を図る。
44	新産業の育成・支援	1	商工観光課	○	維持	既存の事業者支援では一定の成果を上げているが、本来の施策目的である新産業の育成支援という意味では様々なツール等を活用して拡充し取組を推進していく必要がある。
45	グリーンツーリズムの推進	2	農林水産課	○	維持	農業振興の一翼を担うという側面を見つめ直しつつ、農泊受入農家、農泊体験を望む学校等へ働きかけながら推進を図る。
46	地域資源を活かした農林業の振興	26	農林水産課	○	維持	個々の事業推進の中で課題は山積しているが、創意工夫をしながら農業全体の付加価値を高めるべく推進を図る。
47	時代に即応した組織機構の構築	3	総務課	-	-	今後も市民サービスの向上に取り組む。
48	コミュニティ組織の育成	3	総合政策課	○	維持	市民活動団体などについては、単なる資金面の援助だけでなく人材育成や取組の質の向上が図られるよう必要な支援を行って行く。
49	効果・効率的行政運営	0	総合政策課	○	維持	第2次総合計画に基づき新たな評価システムの構築と行政評価の機能を充実させ、引き続き事務事業の改善に努める。
50	財政の健全性の確保	0	財政課	○	-	自主財源の確保としてクラウドファンディング・PPP・PFIなど具体的な方策として新たに検討していく。
51	市税の適正な賦課と徴収	2	税務課	○	維持	課税客体を的確に把握し、引き続き適切な賦課と徴収に努め収納率の向上を図る。
52	人材の育成と活用	3	総務課	○	維持	人材育成の見地から今後も研修のあり方が大切になるので、新たな方向付けも視野に入れながら推進を図る。
53	広報広聴機能の充実	1	総務課	○	維持	ホームページで市として掲載しなければならない情報を迅速に掲載し、文言や表記の仕方についても統一することで見やすくなるよう検討すること。
54	市民と行政の協働	0	総合政策課	○	維持	引き続き市民等による協働が進むよう体制を整えていく。

計 52

拡充
維持
削減
廃止
-

4
46
0
0
2

【達成度】

◎：順調 ○：概ね順調 △：やや遅れている ▲：遅れている

外部評価

施策No.	施策体系	事務・事業数	施策担当課	達成度	施策方針	外部評価コメント
7	明日を担う青少年の健全育成	20	学校教育課	○	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろ話を聞いて頑張っていると感じた。一つだけボランティアについて中々増加していないというところをもっと工夫して欲しいと感じた。地域のシニアなども活用してもらえればと思う。 ・ すべての事業について一度振り返り本当に必要かどうか検討して欲しい。 ・ セルフチェックと一次評価の関係が整合がとれていない。事業費についても厳しくチェックして外部に出して欲しい。 ・ 要保護・準要保護児童生徒援助費について、4月からではなく1カ月前倒して支払うなど市民が利用しやすいように改善されているのが非常にいいと感じた。 ・ 郷土愛を育む活動を継続してやって欲しい。 ・ 資料の精査と数字の根拠が見えて来ないので改善して欲しい。
21	高齢者福祉の充実	21	福祉介護課	○	維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年、10年、もしかしたら15年先を見ていかなければいけない事業なので土台作りをしっかりとっていただきたい。事業の内容を再度精査していく必要があると思う。 ・ 高齢化が進んでいく中でそれに関わる予算も大きくなっていくと思う。敬老会は出席率も低いので、行けるけど行かないという方がかなりの割合を占めていると思う。元気なので記念品とかも辞退する。というような本人の意思表示みたいなものもあるといいのかと感じた。 ・ 区長さんを中心としてお互いの声掛け運動のようなシステムの義務付けを市から指導していただきたい。 ・ 今後は事業を進めていくうえで市の予算も考えて行かなければいけない。何かを辞めるという決断をしなければいけないとなった時に、今回の評価シートでは分かりにくい部分があった。福祉の部分は特に丁寧な説明が必要なので、今後胎内市の収入はこうなのでこうしますという数値的な根拠などの説明がもう少しあるといい。事業についても縮小すべきものもあっていいと思うし、むしろあるべきだと思う。ここを考えながら進めていただきたい。 ・ 外部団体に補助金を出して事業を委託しているのが結構あるので、その使途について厳しくチェックして欲しい。 ・ 敬老会での現金支給はやめた方がいい。本当に困っている人には現物支給の方がいい。 ・ 地域の支え合いで横の繋がりが重要になってくる。